

「全国一斉学力テスト」で明らかになったことは

親のくらしの大変さ 大阪の教育条件の貧しさ

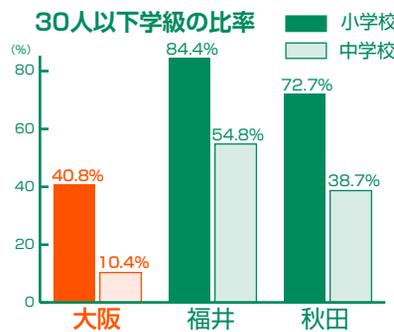


★正答率の高かった県と大阪を比較すると

子どもを支える家庭のきびしさ

	大阪	福井	富山
完全失業率	2位	47位	46位
生活保護受給率	2位	46位	47位
就学援助受給率	2位	46位	47位
実収入	45位	4位	1位

教育条件の格差が歴然



大阪の学力の低迷は、経済苦から厳しい教育環境に置かれている子どもが多いという特有の理由がある。子どもに等しく与えなければならない環境も整えず、成績どうこう言うのは酷だ。

作家の高村薫さん
(「朝日」08年10月17日)

子どもが“泣く”橋下教育“改革”は許せません

私学助成大幅削減で
私立中・高の半数以上が
「授業料値上げの方向」

(大阪府私学課調査 08年9月30日)

学費で苦しむ友だち
や学校をやめる友だち
をこれ以上増やしたく
ありません。

(私立高校3年 Iさん)



教育予算350億円削減で
日常の教育活動が
きわめて困難に

- 「障がい児教育」予算 **5億円以上削減**
- 「いじめ・不登校」関連予算 **2億円以上削減**
- 府立高校の非常勤職員 **350人雇い止めをすすめる**
- 家庭訪問の回数を削り、宿泊行事の引率教員も人数を減らす事態に

全国一斉のムダな「テスト」は中止を

「なぜ毎年60億円も使って、全員対象の調査が必要か」。疑問の声があがっています。学力の実態を知るためには5%程度の抽出調査で十分です。

「このまま続ける必要があるか」(「朝日」)
「60億円はもっと有効に」(「毎日」)

国と府の
責任で

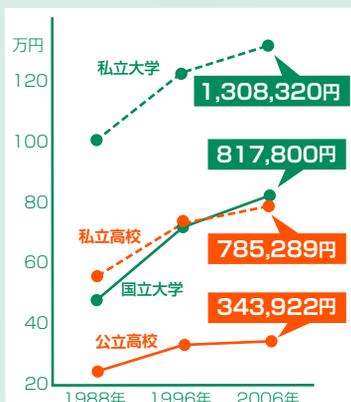
どの子にもゆきとどいた教育を

教育費負担の軽減を

世界では教育費無償が当たり前

国名	小	中	高	大
日本	△	△	×	×
イギリス	○	○	○	△
ドイツ	○	○	○	○
フランス	○	○	○	○
フィンランド	○	○	○	○
ニュージーランド	○	○	○	△

○無償 △一部有償 ×有償



★高等学校教育費(授業料・学校納付金など)の年額
★大学は入学金と授業料の合計
「子どもの学習費調査」教育指標の国際比較(文部科学省)より

30人以下学級を

国	30人以下学級があたりまえ
日本	40人
イギリス	30人
ロシア	25人
ドイツ	24人
アメリカ	24人
フィンランド	24人

世界では25人以下学級があたりまえ

学力向上は少人数学級が効果あり

少人数学級になって
「総じて学力が向上した」…… **95%**
「授業がわかりやすいとの児童の声が多くなった」…… **88.4%**

大阪府教育委員会
07年5月調査